期	氏　名	修士論文表題
MN3	井上　欣三	波浪中における岸壁係留船の避泊に関する研究
5	松田　博之	船首1点ブイ係留船の避泊に関する研究
13	ﾊﾟｲﾛｯﾄ･ﾃﾞｰﾁｬﾎｽﾜﾝ	船舶近代化の評価に関する研究
13	臼井　英夫	錨泊システムシミュレータの作成とその応用
15	花房　元顕	アプローチ操船の安全性評価に関する研究
18	玉井　勝也	操船者の安全に対する余裕感覚の定量表現手法の開発 ー3次元視覚モデルの提案ー
18	江　鈞懋	操船中における転心の位置推定とその特性分析に関する研究

19	世良　亘	避航操船の困難度評価に関する研究
19	安田　克	港域内アンカレッジの適正規模配置に関する研究
20	宮崎　貴治	操船者の視覚感覚に基づく閉塞水域航行の評価
20	大野　一郎	船舶輻輳海域における高速船就航問題に関する研究
GN1	大野　麻子	阪神・淡路大震災における船舶活用の実態とその問題点

ー港湾と海上交通からみた被災から復旧への過程ー

1	原　大地	港内航路管制の運用システムの設計に関する研究
1	金子　光浩	高速船運航のあり方に関する研究
2	増田　憲司	操船者の安全感覚から見た操船環境と交通環境の同時評価法

2	今田　敦朗	港湾における強制水先制度のあり方に関する研究
2	久保野　雅敬	危険の切迫に対して操船者が感じる危険感の定量化モデル
3	浅井　稔也	港内高速航行の安全性評価に関する研究
3	瀬田　広明	着桟操船の安全性評価と操船支援情報の設計に関する研究
3	藤田　伸吾	環境ストレスモデルによる港内交通流の評価
CN1	佐々木　伸宏	出会いの概念に基づく交通流場の評価
1	渡部　孝明	航路の輻輳度の分析評価に関する研究
3	永山　久男	コンテナ荷役の自動化を目標とした上架式固定係留法の研究

4　品川　史子　錨泊における走錨判断に関する基礎的研究

5　久篠　美佳　架橋下通航における操船者の行動に関する研究

6　櫻井　美那子　風圧影響下での操船に関する研究

6　高橋　浩子　ＢＲＭ研修とその評価に関する研究

7　今住　章浩　交通輻輳を考慮した航路復員決定法

8　酒出　昌寿　備讃瀬戸海域における込瀬網漁船の操業環境および一般航行船舶の航行環境評価の基礎的研究

9　山崎　慎也　航路内における接近限界距離に関する考察